



校報

# 水糸者

No. 1310

元年度・第169号

## 特別な卒業証書授与式となります

今年度の卒業証書授与式をどのような気持ちで迎えようかと、校長と6年生全児童との面談も終わり、いよいよ卒業証書授与式の具体的な立案が始まっていた矢先の突然の「要請」のため、大変残念ですが今年度の卒業証書授与式は大幅な規模縮小での実施となる予定です。

6年児童との面談では「6年間の思い出」と「頑張った事」、「成長したと思う事」、「どんな伝統を残していきたいか」、「どんな卒業式にしたいか」などを確認しあいました。

6年生の心の成長と母校を思う気持ちがとってもうれしく感じられた6年児童との面談でした。



### 〔6年生の思い（6年生との面談から）

…『こんな卒業式にしたい』、『6年間で成長した事』、『残していきたい伝統』など〕

親が育てて良かったと思う卒業式

あいさつの伝統を残していきたい

みんなが笑顔で、生き活きと過ごす種小の伝統を続けてほしい

うれしい時ははしゃぎっこ…の伝統を残したい

感謝・成長・絆

笑顔や涙が溢れる卒業式

笑顔と涙で終われる、世界で一番の卒業式

在校生にも感謝が伝わる感動的な卒業式

友達の心を受け入れられるようになった

思いもよらない出来事のため、令和最初の卒業証書授与式は、呼びかけや合唱もないだけでなく、来賓と4年生の参加もない特別な卒業式となります。どのような形の卒業式になろうとも、私たち教職員も在校生も6年生への今までの感謝と前途を祝し、6年生の晴れの門出に際し、心を込めて企画・運営していきたいと考えています。

たくさんの方の思いや願いが詰まった特別な年となった『第111回種市小学校・卒業証書授与式』は、3月19日に举行されます。

【卒業式当日の主な日程は、本日配付の文書をご覧ください】



## 学力の根っこと幹となる『脳力の日』



本校の「脳力の日」については、これまでも何度も校報でお知らせしたとおりですが、3学期からは更にシンプルな「音読」と「視写」を行っています。



脳力の日に音読を行う種小っ子。おなかからしっかりと声を出し大きな口で元気に音読をしていました。脳への良い刺激となる他、心の開放にもつながっていく良い音読です。

人間と動物の脳の違いは、人間にしかない脳の部位；『前頭前野』の有無につきます。その部位がある事によって人間は人間たる思考や行動を取れるわけです。

そして、その『前頭前野』は五感を刺激する遊びや学び、音読、視写などで活発に働き、ゲームやテレビ視聴、スマホ操作中にはほとんど活動しない事がわかってきています。しかも、この『前頭前野』の発達には学童期が大切であり、大人になると発達しにくいことも最近の脳科学の進歩で判明してきた事です。

時々校報『水緒』にも小学校は『黄金期』であると紹介してきましたが、このような理由のためです。

音読や視写がほとんどない学習生活が繰り返されると「人間にしかない『前頭前野』が働かない」ことによって、人間らしい感情や判断ができなくなる子に育つ心配が大きくなります。

「能力」は「脳力」であり、「学力」は「脳力」でもあるのです。

学力の根っこや幹となり、全ての基礎・基本、基盤や来るA I時代もたくましく乗り切っていく「学習体力」も身に付く脳力の日への充実にも今日も種小は努めています。

## 令和元年度PTA文集「みお No.48」完成！

このたび、PTA総務広報部（部長…土畑直美さん）編集の『PTA文集・みお 第48号』ができました。

この号も、昨年度同様サイズがA4版になっており、大変読みやすくなっています。PTA総務広報部の皆さんには、編集や製本作業などのご苦勞をおかけいたしました。その努力の結晶が大変立派なPTA文集みおとなっています。

ごゆっくりご覧になり、お子さんとこの1年を振り返り、将来の夢について語り合う良い機会ともなりますね。

